

# CAN Academy Special Symposium

～ 応用脳科学コンソーシアムが探る  
脳科学とAIで創る新たな未来～

入場無料  
要事前申込

2019.3.5 火 14:00-17:00

定員70名

意見交換会 17:15-19:00 ※会費5,000円(税込)

会場：ワテラスコモンホール

住所：千代田区神田淡路町2丁目101番地



※お申込み多数の場合、  
抽選となります

参加お申込み <http://www.keieiken.co.jp/can/specialsympo/>



AIの急速な普及とともに、ロボットや自動運転車をはじめあらゆる機械の知能化が進み、機械と人間のコミュニケーションの円滑化はさらに重要になっています。その基本は人類が個人を超えた知を結集し文明を作ることを実現した言語というテクノロジーの理解とその可能性を探索することから始まります。基調講演は東京大学教授の岡ノ谷一夫先生にご登壇いただき、動物を対象とした研究を含め、最新の研究成果を交えた言語の起源と進化、テクノロジーとしての言語、さらには未来のコミュニケーションのあり方のデザイン等についてお話を頂きます。また弊社コンサルタントによる講演や意見交換会も予定しております。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

## Programs (14:00-17:00)

- ・開会の挨拶
- ・基調講演 『共創的言語コミュニケーションが創造する新たな「共創テクノロジー」の可能性  
～言語と情報技術を基盤とした新たなコミュニケーションの可能性を探る～(仮)』  
東京大学教養学部 生命・認知科学科 認知行動科学分科 教授 岡ノ谷一夫 先生
- ・講演1 『脳情報通信ビジネスの現状と展望(仮)』  
NTTデータ経営研究所 シニアマネージャー 茨木拓也
- ・講演2 『脳科学とIoT・AIの融合による新たなビジネス(仮)』  
NTTデータ経営研究所 マネージャー 山崎和行
- ・講演3 『脳科学の産業応用～過去・現在・未来(仮)』  
NTTデータ経営研究所 情報未来イノベーションセンター長/  
応用脳科学コンソーシアム事務局長 萩原一平
- ・閉会の挨拶
- ・意見交換会 (17:15~19:00)



### 岡ノ谷 一夫 (おかのや かずお) 先生

東京大学教養学部 生命・認知科学科 認知行動科学分科 教授

慶應義塾大学文学部卒業後、米メリーランド大学大学院で博士号取得。理化学研究所脳科学総合研究センター生物言語研究チーム・リーダーなどを経て、2010年より東京大学総合文化研究科教授。小鳥のうたの進化と機構から人間言語の起源についてのヒントを得る研究で知られる。『「つながり」の進化生物学』『脳に心が読めるか？—心の進化を知るための90冊』『言語の誕生を科学する』（小川洋子さんと共著）など著書多数。

#### <ご研究概要>

従来、心理学の領域とされてきた情動の研究を、脳神経科学・心理学・言語学・情報学の融合科学として再定義し、あらたな情動モデルを構築することを目指している。この情動の生成・伝達メカニズムを科学的に解明することにより、情動情報のモデル化が可能となり、言語情報と合わせて情動情報が伝達可能なものとなれば、新たな社会的コミュニケーションツールの開発などにも貢献しうると考えられる。